

校長室の窓

第 6 号
2013, 9, 24
長野県蓼科高等学校長
金原 正

「第44回 ポプラ祭」にご協力・ご来場ありがとうございました

8月31日と9月1日の2日間、ポプラ祭の一般公開が行われました。お天気が心配されましたが、公開期間中は晴れに恵まれ、大勢の皆さんにご来校いただくことができました。また、近隣の皆様、保護者の皆様には様々にご協力をいただきました。ありがとうございました。今年のポプラ祭ではいくつかの新しい企画に挑戦しました。夏休み中も準備のために多くの生徒諸君が登校していました。よく頑張った良い文化祭だったと校長としては褒めてやりたいと思いますが、来年度に向けて地域の皆様のご意見も是非お聞かせ下さい。『蓼高フォトニュース54』（9/13発行）でも特集を組んでいます。あわせてご覧下さい。



←雨が心配されました。2日前から生徒昇降口前に飾られた「てるてる坊主」効果はバッチリでした。
→今回のテーマ「Puzzle 青春の1ピース」のステージバック



全校製作のステンドグラス（中庭）

蓼高版「平和祈念像」
2年生は今秋、長崎に修学旅行に出かけます。事前学習の一環として、長崎平和公園の「平和祈念像」を再現しました。（生徒昇降口横）



福祉コース展示室から
来場者のメッセージが「実」になりました。

2学年修学旅行展
「歴史と交通」「戦争と平和」「食と文化」「長崎の見所」などの展示発表と模型製作





茶華道部

お手前も披露されました。

PTA展 (右)

出品していただいた皆さんありがとうございました。



海外派遣「台湾研修旅行」報告会

恒例の海外派遣事業。今年は7月28日～31日の日程で生徒12名、引率職員2名が台湾でのホームステイを体験しました。ポプラ祭でその成果の一端を発表しました。『夢高フォトニュース53』(9/6発行)もご覧ください。



書道部のパフォーマンス (中庭)



演劇部「ぶちこわし御伽噺」



合唱同好会



軽音楽部コンサート

「ジャズ☆キャンディー」 コンサート



後夜祭

夕方から雨になり、後夜祭は体育館で行われましたが、ダンスでは全校生徒が(職員も)ひとつになりました。その後雨も小降りになってファイヤーストームにも点火でき、フィナーレは華やかな花火で幕を閉じました。

※紙面の都合ですべての学年・クラス・部活動の紹介ができませんでした。お許し下さい。

芦田城跡

立科町指定文化財

所在地：立科町大字茂田井古町273-1

信濃争奪戦の舞台
となった城



芦田城跡は、芦田古町と茂田井古町の地籍にまたがる高さ40m～60mの山城（標高806m）で、西側には芦田川が北流して堅固な要害となっています。築かれたのは室町時代の15世紀初め頃と思われ、戦国時代後半（16世紀後半）まで使用されていたことが明らかな立科町を代表する城であり、遺構も良く残されています。麓の古町地区には芦田氏の館があったと伝えられ、「御局屋敷」「高屋敷」「坪の内」等の地名が残されています。1967年（昭和42年）6月町指定文化財となりました。

この地域は、室町時代には幕府と鎌倉府との信濃争奪戦の舞台となり、本能寺の変後には、やはり徳川・北条・上杉による争奪戦の主要な地点となっています。長野県史（信濃の歴史）を見る上でも重要な地域と言えるでしょう。

現在、芦田城跡には車道が設けられ、主郭下の観音堂（西側の曲輪）まで車で登ることができます。道が狭いので軽自動車がお勧めです。その上の展望台からの眺めは見事で、古町から浅間連峰まで望むことができます。是非多くの人に登っていただきたいと思うのですが、春～秋は草木が生い茂って歩くのも大変ですし、遺構の全体を見渡すことができないこと、また、山腹の「史跡芦田城」の大きな看板は下からはほとんど見えず、逆に城側からは展望を妨げるものになっていることなど、気になる点もあります。文化財の保存と活用という観点で検討頂ければ…と思っています。



主郭を巡る土塁（北側～東側）

HP版では、芦田城概要図は掲載していません。



観音堂前（展望台より一段下の曲輪）から古町方面を望む。看板が気になります。

芦田城概要図
作図：郷道哲章氏
（『立科町誌』より）